

2020年の幕開けに新しい本との出会い

本を読みたいけれど、文字を見るのがつらい…という方には大きい文字の大活字本はいかがでしょうか。

- ▶『大きな字でわかりやすいiPad 入門』
 - ▶『悔いのない人生（大活字版）』
 - ▶『1Q84（大活字文庫）』など
- ご希望の本は、カウンターでお気軽にご相談ください。



「麒麟がくる」

2020年の大河ドラマの主人公、明智光秀や本能寺の変に関連した本を集めました。

- ▶『地図と読む 現代語訳 信長公記』
- ▶『インスタ映えする戦国時代』
- ▶『茶屋四郎次郎、伊賀を駆ける』
- ▶『光秀公記』など



新着図書から

『福を招く 干支のお針仕事』

▶日本ヴォーグ社（594/フ）
2020年の干支はねずみです。布や綿を使ってかわいい十二支の動物たちを作ってみませんか。手順を写真で説明しており、型紙も掲載しています。干支以外にも巾着やお手玉など手軽に作れるものもあります。見ているだけでも楽しい本です。



一般書

『英語、苦手かも…？と思ったときに読む本』

▶デイビッド・セイン / 著
▶河出書房新社（J830/セ）
日本に来て30年以上の著者が「英語を身につける」とはどういうことを伝え、自由自在に英語を扱うコツを伝授します。“14歳の世渡り術”シリーズの一冊です。



ティーンズ

『だれもしらない図書館のひみつ』

▶北川チハル / 作
▶石井聖岳 / 絵
▶汐文社（913/キ）
ここは、夜長森図書館。小学校の中にあり町の人も利用できる図書館です。この図書館では真夜中に本たちのおしゃべりの声が聞こえます。次々と登場する本たちにページをめくる手が止まらなくなります。



児童書

図書館カレンダー

1月 CALENDAR

1 水	休館日
2 木	休館日
3 金	休館日
4 土	休館日
5 日	
6 月	休館日
7 火	菰野町都市マスタープラン(案)資料(パネル)展示 ▶1月5日から1月10日まで
8 水	
9 木	16:00～ 英語のおはなし会
10 金	
11 土	14:00～ 楽しいおはなし会
12 日	
13 月	
14 火	全国孔版画 愛好者による年賀状展 ▶1月11日から1月19日まで
15 水	
16 木	
17 金	
18 土	
19 日	
20 月	休館日
21 火	
22 水	
23 木	
24 金	
25 土	14:00～ 楽しいおはなし会
26 日	
27 月	休館日
28 火	休館日
29 水	
30 木	
31 金	

郷土史・風俗

第70回 鈴木弘覚

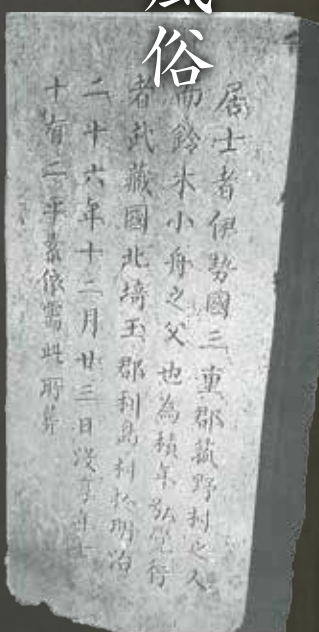
弘覚の経歴

弘覚は文政5年（1822）菰野城下の東町の商家、伊藤源蔵の五男に生まれました。名を大三郎・弘覚といい、菰野藩士鈴木家の跡を継ぎました。

弘覚は、藩の儒学者南川定軒に四書五経※1を学び、のちに師の勧めで京都に遊学しました。京都では頼三樹三郎らに儒学を学び、医師も修め、九州日田の咸宜園に折衷学を、長崎へ行き蘭学を学び、学業を終えて帰郷しました。

帰郷後は菰野藩へ士官しましたが、藩の上司に水利の意見申し立てが認められず、藩を辞し、横浜へと移りました。横浜では三井両替店へ通辞※2として勤め、この店で同族の伊藤多蔵が店の金をひそかに費消したため、弘覚はその責任を負い横浜を出奔して日光の庚申山へ登りました。そして御嶽教の修験者の中に身を投じ修行すること3年、先達となり、山を下り南那須野地方の山村を放浪行脚することになりました。

※1「四書五経」儒教で重要とされる經典
※2「通辞」 通訳を行う役人



農学講習所の開設

南那須野の村々を巡り、病める人には医療を、悩める人には加持祈禱を行い、栃木県安蘇郡小野寺村まで来て、山崎竜太郎家に引き留められてしばらく逗留し、隣村の荑川村板橋六郎家に移りました。

弘覚の墓碑銘▶

弘覚は荑川から渡良瀬川に沿い南へ下り、埼玉県麦倉まで来ました。そこでは村の農業に熱心な青年、萩原丈助の懇請を受けて、村の薬師堂の傍らに、樊須園とよぶ道場を開き、ここで村の青年を集め、農業の生産性を高めるための技術改革を説き、研究の教育を始めました。まず、郷里の菰野から「関取米」の種子を取り寄せて、試作して好成績を収め、これが利根川筋の関東平野に普及する端緒となりました。弘覚の樊須園が農学講習所になり、さらに埼玉県立幸手農学校へと発展しました。

町長のひとり語

The Story of our Mayor



新年、あけましておめでとうございます。令和初のお正月ということ、本日テーマは昨年の振り返りと今年の展望を語ってみます。

まず、昨年8月からは住民の皆さんとの距離を近くし、声を聴くために「柴田町長と語ろう」を実施し、皆さんと多くの対話の機会を得ました。直接お話しすることによって、皆さんの考えや問題意識などを認識することができ、大変貴重な機会をいただけております。

また、子育てがしやすい町を目指し、9月には未就学児の医療費を窓口で無料とし、12月には中学校給食をスタートしました。昨年9月の豪雨災害への復旧につきましても、着実に進めているところです。

そして、今年からは菰野町Maasシステム「おでかけこもの」をスタートします。インターネット上で

Theme 10 振り返りと展望

のりあいタクシーの手配と公共交通機関を使った経路検索が実現することにより、町民の皆さんのおでかけをお手伝いします。便利な機能が詰め込まれていますので、ぜひ一度、ご利用いただきたいと思っています。

さらに本年4月には中学生の通院医療費を無料化するとともに、すでに進めてきた施策の拡充を図ります。医療費の無料化の範囲拡大、中学校給食の質の向上をはじめ、菰野町を発展させるために菰野インターチェンジを最大限に活用して観光、工業、商業を振興し、町を活性化させるための事業の実施について前向きに検討してまいります。

今年一年、誰にとっても素晴らしい年になるようお祈りしつつ、私も皆さんの声を聴き、さらに住みよい町を目指し、町長2年目としてしっかりと務めてまいります。

